

接続導線

測温抵抗体の出力は一般に3本のリード線で測定機器まで導かれています。この方式は先に述べたようにリード線抵抗がキャンセルできるため、ほとんどの測温抵抗体で使われていますが3本のリード線抵抗が揃っていないとその分が測定誤差となって表れてきます。従って3芯銅導線の信頼性も正確に測定するためには重要な要因となります。

その他に、測温抵抗体と測定機器との距離、配線場所の雰囲気に合わせて各種の外装被覆接続導線を揃えています。

標準接続導線

記号	断面積(mm ²)	芯構成 [mm/本]	外装被覆材質	耐熱温度 ()
VCTF	0.3	12/0.18	全耐熱ビニール被覆	105
6FSR	0.3	12/0.18	テフロン(コア) - シリコン(シース)	200/180
FEP	0.5	19/0.18	テフロン(コア) - シリコン(シース)	200/180
GB	0.5	20/0.18	全ガラス被覆	180
GB - SOS	0.5	20/0.18	ガラス被覆外ステンレス編組	180

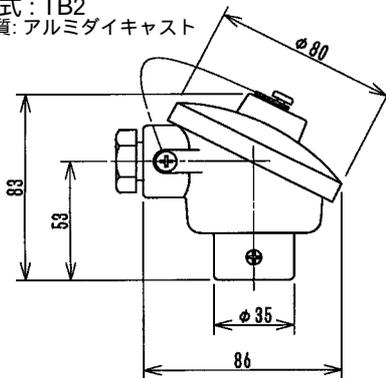
線路抵抗

スズメッキ軟銅線 断面積[mm ²]	1kmあたりの線路抵抗 [/km]
0.30	64.4
0.50	(20/0.18) 38.7 (19/0.18) 40.7
0.75	25.8
1.25	15.5

端子箱

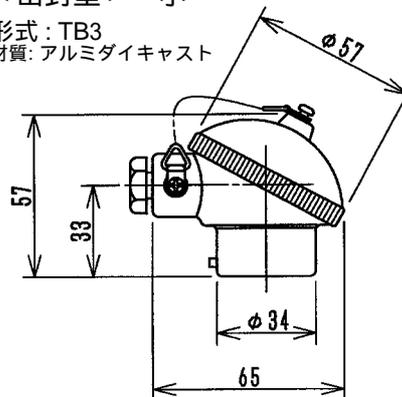
<密封型> 大

形式: TB2
材質: アルミダイキャスト



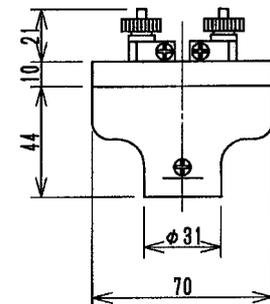
<密封型> 小

形式: TB3
材質: アルミダイキャスト

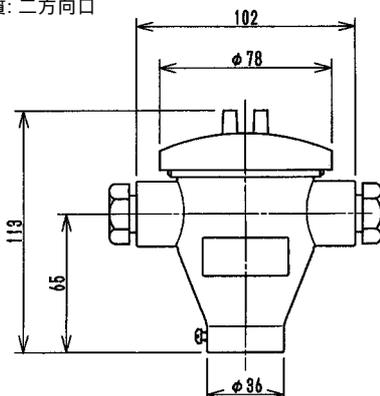


<開放型> 大

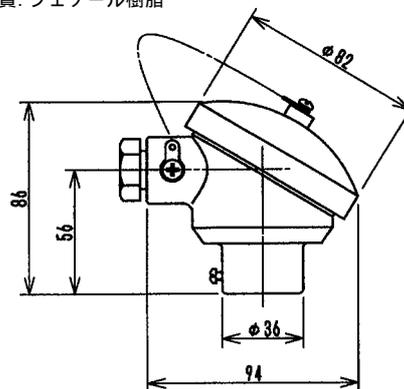
形式: OT1
材質: アルミダイキャスト



形式: TB4
材質: 二方向口



形式: TB5
材質: フェノール樹脂



<開放型> 小

形式: OT2
材質: アルミダイキャスト

